

平成 22 年 6 月 14 日

(財) 製造科学技術センター 学会員 各位

(財) 製造科学技術センター  
専務理事 瀬戸屋 英雄

## 平成 22 年度 第 1 回アイデアファクトリーテーマ募集について

拝啓 入梅の候、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて先日の、当センター学会員の登録の御願いに際しましては早速ご登録いただきありがとうございます。今後とも製造科学技術センターの事業につき引き続きご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

その際にもご案内いたしましたアイデアファクトリーにつきまして別紙要領により本年度第 1 回のテーマ募集を行います。多くのメンバーからの応募（研究開発シーズ／ニーズの提案）を頂きたくお願い申し上げます。

改めて、本事業の目的等を述べますと、本事業は学会員から調査研究のテーマを提案していただき、それに興味を持つ当センター賛助会員である企業が共同で研究会（アイデアファクトリー）を組織することにより、共通の問題意識を抱える学会員と企業会員とが直接の意見交換、調査及び基礎研究等の活動を行うことを通じて研究開発への次のステップへの足がかりを築いていこうというものです。研究期間は原則 2 年間とし、調査経費として 1 テーマにつき年間上限 150 万円を製造科学技術センターから学会員に提供するとともに、会議室の提供等のサポートを行います。また、製造科学技術センターの技術スタッフも研究会に参加いたします。

出口イメージとしては

- ・ 公的資金によるフィージビリティスタディの実施
- ・ 産学共同による大型の研究開発プロジェクトの提案・実施
- ・ 企業による単独／共同プロジェクト化（コンソーシアムの形成）
- ・ 企業の研究計画／製品開発計画への反映・発展

などにつなげることを目的とします。

アイデアファクトリーのテーマは、ものづくり関係の技術に関するものであれば分野を問いませんが、今回は政府の新経済成長戦略で示されている「グリーンイノベーション」及び「ライフイノベーション」関係及びMSTCのものづくり技術戦略マップで示された重要技術課題関係のテーマを特に歓迎いたします。(別添をご参照ください) 提案されたテーマは、製造科学技術センター賛助会員の参加希望投票により採択されます。5社以上の賛助会員が参加を希望するテーマは原則として採択しますが、応募状況によりましては、より少ないメンバーでの採択もあり得ます。また、賛助会員以外の企業については、賛助会員になって頂くかまたは、次年度からの賛助会員加入を確約して、今年度は1テーマ25万円の負担をいただければ参加可能です。学会会員による「事前運動」には全く制限はございませんので賛助会員への参加の働きかけはご自由にして頂いて結構です。アイデアファクトリーの成否はいかに賛助会員企業のニーズに基づく共通課題に即したテーマが立ち上げられるか、当該課題解決に供する学術シーズがあるかに懸かっておりますので、趣旨をご理解頂きご提案のほどよろしくお願い致します。

なお、IMSセンターでは5年間に18件のアイデアファクトリーを実施し、いくつかのテーマは次のステップに進んでいます。

敬 具

(お問い合わせ先) (財) 製造科学技術センター 国際部 八木、春日  
TEL : 03-5472-2561 (7月2日まで)  
03-3500-4891 (7月5日から)  
E-mail : int-ifjim@mstc.or.jp

## 平成 22 年度 第 1 回アイデアファクトリーテーマ募集要領

平成 22 年度アイデアファクトリー事業に関し、下記の要領にてテーマを募集致します。奮ってご応募下さい。

### 1. アイデアファクトリー事業の目的

本事業は学会員から調査研究のテーマを提案していただき、それに興味を持つ当センター賛助会員である企業が共同で研究会（アイデアファクトリー）を組織することにより、共通の問題意識を抱える学会員と賛助会員とが直接の意見交換、調査及び基礎研究等の活動をするを通じて研究開発への次のステップへの足がかりを築いていこうというものです。

出口イメージとしては

- ・ 公的資金によるフィージビリティスタディの実施
- ・ 産学共同による大型の研究開発プロジェクトの提案・実施
- ・ 企業による単独／共同プロジェクト化（コンソーシアムの形成）
- ・ 企業の研究計画／製品開発計画への反映・発展

などにつなげることを目的としています。

### 2. 提案／参加資格

MSTC の学会員であれば誰でもテーマの提案ができます。現在学会員でない学術機関構成員の方もメンバーの推薦があれば提案可能ですが、提案が採択された場合は学会員になって頂きます。テーマとしてはまだ本格研究には着手していないが近い将来の研究テーマとして産業界のニーズを確かめたい、またある程度の研究成果を出しているものについてその産業適用を目指す等が考えられます。なお、賛助会員がテーマをお持ちの場合には、そのテーマについて知見のある学会員にコンタクトし、その学会員名で応募して下さい。もし、適当な学会員がいない場合には事務局にご相談下さい。

なお、新規の単独／共同プロジェクト化を狙うため、既に同一テーマで公的な助成を現在受けているプロジェクトは本アイデアファクトリーの対象とはなりません。

MSTC 賛助会員は、公募に寄せられたテーマに対する参加希望の有無について投票し、そのテーマが採択されることによりアイデアファクトリーに参加できます。なお、他の採択されたテーマに参加することも可能です。

賛助会員以外の企業については、提案書に明記してあり、その提案が採択された場合には、賛助会員になって頂くかまたは、次年度からの賛助会員加入を確約し、今年度は 1 テーマ 25 万円の負担をいただければ参加可能です。

### 3. 研究期間

テーマによって最大2年とします。なお、2年間の研究を希望するテーマでも、メンバーに参加継続意志を年度毎に確認し、継続の可否を決定します。

### 4. アイデアファクトリー運営資金及び予算

アイデアファクトリー運営のため MSTC はリーダー（提案者である学会会員）に資金を支給します。運営資金は1テーマあたり年間150万円を上限とします。

資金の用途は特に限定致しませんが、アイデアファクトリーの運営及びテーマの研究実施に要する、①国内外旅費、②補助員雇上費用、③資機材・ソフトウェア、④文献費・翻訳費、⑤会議費等が考えられます。提案書では項目毎の予定費用を、また実施計画書では項目毎の内訳の費用計画を記載してください。なお費用計画と実績が大きく異なるおそれがある場合には、事前に事務局にご相談ください。研究終了後には実施報告書に使用明細を添付して下さい。

なお、賛助会員は原則としてボランティアの参加となります（旅費については場合により予算の範囲内で支給することは構いません）。

MSTC はロジスティックサポートを提供します。

### 5. 募集

応募を希望する学会会員は、提案書（A4、1～2枚程度。別紙1参照）に必要事項を記入の上、締め切りまでに電子メールで MSTC 国際部へご提出ください。複数の学会会員による応募も可能ですが、その場合は代表者を指定して下さい。

平成22年度 第1回募集

募集期間：平成22年6月14日（月）～平成22年7月16日（金）

締切：7月16日（金）

なお、応募及び採択状況によっては第2回目以降追加の募集も検討します。

### 6. 問い合わせ及び書類提出先

（財）製造科学技術センター 国際部 八木、春日

E-mail : [int-ifjim@mstc.or.jp](mailto:int-ifjim@mstc.or.jp)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TT ビル 3F

TEL : 03-5472-2561 FAX : 03-5472-2567

7月2日まで

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門5森ビル 5F

TEL : 03-3500-4891 FAX : 03-3500-4895

7月5日から

## 7. 投票・採択及び結果通知

- (1) 投票：提案があったアイデアファクトリーテーマに対し MSTC 賛助会員の参加希望投票により採択テーマを決定します。参加希望投票は提案締め切り後 1 週間以内に、MSTC から全賛助会員に提案テーマリスト及び各テーマの提案書を賛助会員に送付し、参加希望投票を受け付けます。受付期間は 2 週間程度を予定しています。賛助会員は最大 5 票の参加希望投票権を持ちます。1 テーマに対し 1 票の投票で最大 5 テーマに投票ができます。参加を希望するテーマがない場合にはその旨お知らせ下さい。
- (2) 採択：5 票以上の参加希望のあったテーマについては、原則採択します。3 票以上のテーマについては、得票順に予算の枠内で採択を行いますが、その際テーマの重要度を事務局で判断することもあります。なお、今年度は 5 件程度の採択を予定しています。
- (3) 通知：採択テーマの提案者に通知するとともに、MSTC ホームページにテーマ名／提案者／リーダー／予定参加メンバー／活動概要を掲載・発表します。

## 8. 参加メンバー

アイデアファクトリーの参加メンバーは、提案者である学会会員、テーマに参加投票をした賛助会員、提案書に明記してありその提案が採択された場合には次年度からの賛助会員加入を確約し、今年度は 25 万円の支払いを約した賛助会員以外の企業となります。採択時にメンバーでなかった学会会員、賛助会員、賛助会員以外の企業については、採択時の参加メンバー全員が承認すれば参加可能です。その際賛助会員以外の企業については賛助会員になって頂くまたは、次年度からの賛助会員加入を確約し、今年度は 1 テーマ 25 万円の負担をいただくこととなります。

また、各アイデアファクトリーには、MSTC の技術担当職員 1 名以上がオブザーバーとして参加します。また関係省庁、研究所、助成機関等の職員のオブザーバー参加も認められます。

## 9. 実施計画書

採択されたテーマのリーダーは採択通知の日から 1 ヶ月以内に実施計画書（A4、2～3 枚程度。別紙 2 参照）を MSTC に提出して下さい。

## 10. 契約

MSTC と各アイデアファクトリーリーダーとはアイデアファクトリーの実施に関し研究契約（単年度契約）を締結するものとします。

## 11. 報告

各アイデアファクトリーは年度終了後 2 ヶ月以内に活動概要及び資金使用明細を記した「実施報告書」（A4、4～5 枚程度。別紙 3 参照）を MSTC に提出して頂きます。項目としては、下記を含むものとします。

- (1) 研究チーム構成
- (2) 研究の全体概要（当該研究テーマの目的、課題、研究・検討手法、予定成果、予定成果利用等）

- (3) 本年度の研究の内容（該当研究の本年の範囲、分野、内容等についての記述）
- (4) 各参加団体（者）各々の本年度の担当分野及びその内容
- (5) 活動及び研究成果の概要（研究、調査、検討の結果について記述）
- (6) 来年度以降の研究実施予定（国内／国際協同研究の可能性、手法、組織、資金等）
- (7) 資金使用明細

MSTC は年 1 回各アイデアファクトリーの活動概要／成果を広く知らせるためアイデアファクトリー総会を開催しますが、その際、各アイデアファクトリーは活動概要・成果を発表するものとします。総会は広く一般に公開し、会員／共同研究者の勧誘に役立てるものとします。

また、実施報告書は資金使用明細書を除き MSTC ホームページに掲載して一般に公開します。

## 12. アイデアファクトリーの運営方法等

- (1) セッション開催：各アイデアファクトリーは少なくとも年間 4～5 回セッション（全体会議）を開催するものとします。セッションは原則 MSTC で開催するものとし、MSTC はセッション開催に必要なロジスティクス業務を行います。個別セッションはクローズ（メンバーのみ参加）とします。メンバーはリーダーに頼り切ることなく、事例提供、理論的検討、アルゴリズム開発支援等、成果発現のため、積極的に活動することが義務づけられます。
- (2) 知的財産等の取り扱い：本アイデアファクトリーでは基本的にはその活動を通じて知的財産等が生成されることは想定しておりません。しかし、事例提供、理論検討等に際して必要があれば、NDA ないしは知的財産取り扱い協定等を締結することを推奨致します。
- (3) 事務局：MSTC 国際部が事務局を務めます。事務局はリーダーの指示により、アイデアファクトリー運営のためのロジスティクス業務、即ち会議の招集案内、会議室準備、討議資料の準備（個別資料そのものはメンバーが作成）等の支援を行います。MSTC 及び真福寺（港区愛宕）で行われる会議については会議室及びペットボトル等の飲み物は無償で提供します。また、配付資料のコピーも無料で提供します。

アイデアファクトリー実施の流れについては別紙 4 をご参照ください。

以上

## 平成22年度 アイデアファクトリー提案書

1. アイデアファクトリー名称	和文： 英文：	
2. 提案者及び参加予定者	提案者： 協力学術会員（もしあれば）	参加予定賛助会員企業（もしあれば） (1) (2) (3) 参加予定非賛助会員企業（企業の詳細を得ておくこと）
3. 研究テーマ 対象分野		① グリーンイノベーション関連 ② ライフイノベーション関連 ③ ものづくり技術戦略マップ関連 ④ その他
4. 研究の目的及び背景 (1)目的  (2)背景		
5. 研究全体概要		
6. 期待される成果及びアイデアファクトリー終了後の構想 (1)期待成果  (2)終了後の構想		
7. 予定研究期間	平成22年 *月 *日 ~ 平成 *年 *月 *日	
8. 関連研究実績		
9. 予定費用（上限150万円） 内訳（旅費、人件費、会議費等）を記載して下さい。		

## 平成22年度 アイデアファクトリー実施計画書

1. アイデアファクトリー名称	和文： 英文：	
2. リーダー及び参加者	リーダー 参加学会員 MSTC 担当者	賛助会員企業 (1) (2) (3) (4) (5) 非賛助会員企業 (1) (2)
3. 研究テーマ 対象分野		① グリーンイノベーション関連 ② ライフイノベーション関連 ③ ものづくり技術戦略マップ関連 ④ その他
4. 研究の目的及び背景 (1)目的  (2)背景		
5. 研究内容 (平成22年度)  (平成23年度)		
6. 参加者の研究分担		
7. 22年度の実施スケジュール		
8. 23年度の実施スケジュール		
9. 期待される成果及びアイデアファクトリー終了後の構想 (1) 期待成果  (2) 終了後の構想		
10. 費用計画 (上限150万円)		項目毎の内訳の積算を記載してください。



アイデアファクトリー「\*\*\*\*」実施報告書

平成 23 年 \* 月 \* 日

(財) 製造科学技術センター

理事長 庄山 悦彦 殿

住 所

名 称

リーダー

募集要領に基づき、アイデアファクトリー「\*\*\*\*」の活動概要及び委託費使用明細を下記のとおり報告します。

記

1. 実施概要

(1) 研究概要 (当該研究テーマの目的、課題、研究・検討手法、予定成果、予定成果利用等)

(2) 実施体制

(3) 個別実施 (各参加団体 (者) 各々の本年度の担当分野及びその内容項目)

2. 実施の成果

(1) 全体的成果

(2) 個別活動成果 (各参加団体 (者) 各々の本年度の担当分野及びその成果)

3. 今後の展開予定 (国内/国際協同研究の可能性、手法、組織、資金、等)

(1) 共同研究への展開

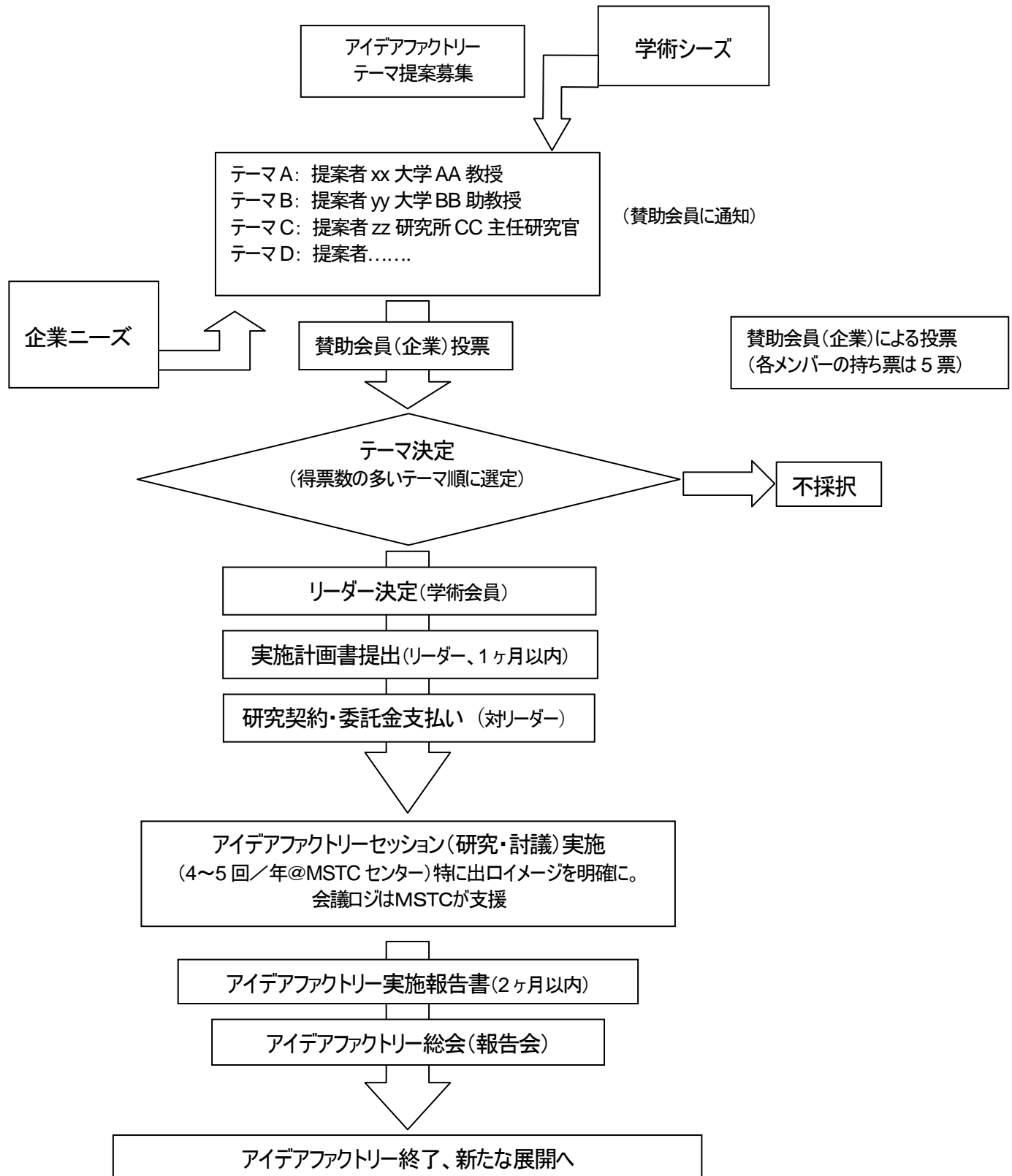
(2) メンバー企業内での展開

4. 委託金使用明細

別紙として添付

以上

アイデアファクトリー実施の流れ



## アイデアファクトリーの推奨テーマ

### I. 総合科学技術会議「科学技術基本政策策定の基本方針（案）概要」より

#### 国家戦略の柱としての2大イノベーションの推進

##### グリーン・イノベーションで環境先進国を目指す

— 環境の配慮した国民生活の質の向上を実感できる、持続可能な低炭素・循環型社会の実現 —

- 再生可能エネルギーへの変換、エネルギー供給・利用の低炭素化、エネルギー利用の効率化・スマート化、社会インフラのグリーン化
- ルール変更によりイノベーションを誘発する「ポジティブ規制」の活用
- 安全規制を限定解除する特区機能付先端研究拠点の創設
- 国際標準化による競争力強化戦略の策定・推進

##### ライフ・イノベーションで健康大国を目指す

— 少子高齢化社会において、国民が豊かさを実現できる社会の実現 —

- 予防医学の推進、革新的診断・治療法の開発、高齢者・障がい者の科学・技術による自立支援
- 先端研究開発を総合的に推進する研究所の創設
- 医師主導治験による探索型の橋渡し研究の実施
- レギュラトリー・サイエンスの推進
- 「ポジティブ規制」の活用

II. 経済産業省編「技術戦略マップ2009」より（MSTC 策定課題）

<b>重要技術課題</b>	
<b>サステナブル・マニュファクチャリング</b>	
持続可能社会評価技術(S1)	1
高効率的多品種変量生産技術(S2)	2
動脈・静脈一体型生産システム(環境面)(S3)	3
<b>製造システム</b>	
バーチャルマニュファクチャリング(P1)	4
人・ロボット協調生産(P2)	5
動脈・静脈一体型生産(生産面)(P3)	6
トータルトレーサビリティ(P4)	7
ゼロエミッション工場(P5)	8
グローバルネットワーク化(P6)	9
<b>設 計</b>	
3次元モデリング技術(D1)	10
現物融合技術(D2)	11
ナレッジ管理・運用技術(D3)	12
CAE、性能シミュレーション技術(D4)	13
<b>加 工</b>	
先進的コア技術(M1)	14
ミニマル加工技術(M2)	15
オンデマンド加工技術(M3)	16
マルチスケール／マルチフィジックス(M4)	17